

がんの最新情報が大集結
日本を代表する
医師・講師陣の無料講座！

知って・学べて・集える日本初最大級のがんフォーラム

同時開催：こども大学医学部サマースクール



がん患者・家族・医療者・市民のための最新がん医療フォーラム in 秋葉原

8月9日(土) 10:00～ (開場 9:30)
秋葉原UDX 4F
JR 秋葉原駅電気街口徒歩2分

Programs

	Theater	Open College	Room C	NEXT 1	NEXT 2	NEXT 3	Gallery1	Gallery2	Gallery3		
10:00	希望の ちから 上映会	脳腫瘍	プラチナ メーク &フォト プログラム	前立腺がん 外科治療	肝臓がん 外科治療	膀胱がん	展示 ブース・ 休憩エリア こどものための 「がんの自習 コーナー」 ～17:00 スポンサー各社 患者会 支援団体 展示・本販売 スペース ～18:30 バイリンガル 即興コメディ グループ 「The Pirates of Tokyo Bay」 も登場 17:30～18:30	こども大学 医学部 サマー スクール	がん サバイバー のための ヨガ (1)		
10:50		頭頸部がん		前立腺がん 薬物療法	肝臓がん 薬物療法	腎がん				(1) 心臓ビクニック 10:00～10:30	
11:00									(2) 心臓ビクニック 10:45～11:15		
11:50											
12:00	がんと遺伝	精巣腫瘍			肺がん 外科治療	がんと 漢方		大腸がん 外科治療			
12:50											
13:00	がん検診 ホントの こと	がんと 妊孕性			肺がん 薬物療法	代替療法		大腸がん 薬物療法		(3) 心肺蘇生とAED 使用法を習得しよう! 11:30～13:00	がん サバイバー のための ヨガ (2)
13:50											
14:00	がんと 放射線	胃がん 外科治療			乳がん 外科治療	血液がん		卵巣がん		(4) しんぞうの しくみを 知っているかい? 14:00～15:30	
14:50											
15:00	いのちの 落語 -笑いは 最高の 抗がん剤-	胃がん 薬物療法		乳がん 薬物療法	がん情報と インター ネット	子宮体・ 頸がん		(5) 医学部を志す 君たちへ ～現役東大医師から のメッセージ 16:00～17:00	がん サバイバー のための ヨガ (3)		
15:50											
16:00	がん教育の 現状と課題	甲状腺がん		乳房 再建	がんと 数字 (統計)	食道がん		(6) とつげき! キッズ記者 ～お医者さんにインタ ビューしてみよう～ 17:00～17:30	ヨガ指導者 向け レクチャー		
16:50											
17:00	がん治療の 真実	皮膚がん		骨転移	がんとお金	すい臓がん					
17:50											
18:00	子宮頸がん の ワクチン			緩和ケア	肉腫	胆道がん			BEC/CIN 認定者 活動報告会		
18:50											
19:00		懇親会 (有料 3,000 円以上の寄付)									
20:00											

ご寄付のお願い

NPO 法人がんネットジャパンは、
これからも皆さんが無料で参加できるセミナーを
今後も引き続き行うために
本日会場内の様々な箇所募金活動を行っています。
皆様の温かいご協力をお願いしております。
何卒ご理解とご支援のほど宜しくお願いいたします。



会員

寄付

募集

Gallery 1

こどものための「がんの自習コーナー」

子ども向けの、がん教育のための本などを閲覧できるコーナーです。ぜひ親子でご利用ください。わかったこと、思ったことをまとめるためのレポート用紙も設置しています。

Gallery 1

レモネードスタンド ボランティア体験

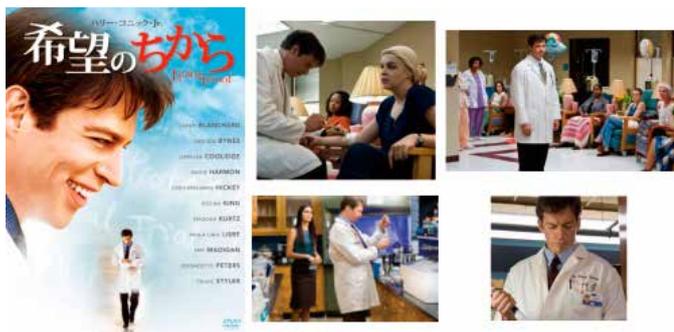
当日参加 OK! (小学生以上)

展示ブースエリアで終日実施している「レモネードスタンド」を、当日、好きな時間に30分間(10:00～18:00)お手伝いしませんか? *レモネードスタンドは、小児がんの支援のために寄付を募る活動です。参加してくれた方には、夏休みの宿題にも使える感謝状プレゼント!!

シアター

※映画は、10:00 ~ 11:50 までのプログラムになります。

希望のちから上映会



講師：勝俣 範之 (かつまた のりゆき) 先生 / 司会：柳澤 昭浩
日本医科大学 武蔵小杉病院腫瘍内科

【ストーリー】 デニス乳がんの治療にすべてを捧げる医師。彼は乳がん患者とその家族のためにいろいろなものを犠牲にしていた。ある時は家族との団欒を犠牲にし、ある時は治療薬開発の資金を得るために奔走し多くの時間を乳がん治療の研究に時間を費やしていた。その先にある乳がん患者の笑顔のために。
【スタッフ & キャスト】 《製作》 ニール・メロン、クレイグ・ゼイダン 《監督》 ダン・アイランド 《脚本》 ヴィヴィエン・ラドコフ 《出演》 ハリー・コニック・Jr、ポーラ・ケイル、アンジー・ハーモン、エイミー・マディガン

脳腫瘍の種類と治療方法 脳腫瘍は150種類もあります

Open College



脳腫瘍はどのようにして診断するのでしょうか？脳腫瘍は様々な種類があるので、腫瘍によって治療方法が異なります。診断と治療、近年のトピックを中心に、悪性腫瘍の現状と今後の展望を専門医より分かりやすくお話しします。

講師：成田 善孝 (なりた よしたか) 先生 / 司会：古賀 真美
国立がん研究センター 脳脊髄腫瘍科

1991年 東京大学医学部卒業。医学博士。東京大学医学部附属病院脳神経外科・亀田総合病院・東京都立墨東病院勤務。東京大学大学院在学中の1999年から、元米国癌学会会長Cavernee博士のもと、Ludwig Institute for Cancer Research in San Diegoに留学し、神経腫瘍(グリオーマ)の分子生物学(シグナル伝達)を研究。2002年より国立がんセンターに勤務し、2014年より国立がん研究センター中央病院脳脊髄腫瘍科科長。

前立腺がん①外科治療

NEXT1

ロボット手術ダヴィンチの外科イノベーション



前立腺がんの外科療法は近年、日本ではロボット手術の導入などにより、より確実に、身体への負担が少なく、入院期間も短時間で済むようになってきています。近年の進歩について、最新の情報を皆さんにお届けします。

講師：久末 伸一 (ひさすえしんいち) 先生 / 司会：川上 祥子
順天堂大学医学部大学院 医学研究科 泌尿器外科学教室 准教授

昭和63年3月 函館ラ・サール高校卒業 / 平成7年3月 札幌医科大学医学部卒業
平成17年9月 学位取得 / 平成18年9月 Massachusetts 大学 神経内分泌センター博士研究員
平成20年10月 札幌医科大学医学部 助教 / 平成23年4月 帝京大学医学部泌尿器科 講師
平成25年4月 順天堂大学医学部泌尿器科科学教室 准教授
専門分野：泌尿器科一般、男性学一般、限局性前立腺癌に対する神経温存根治的前立腺摘除術

肝臓がんの外科治療

NEXT2

ここまで来た。肝臓がんの外科治療



肝臓がんは、肝臓を門脈の支配する区域ごとに分けて切除範囲を決める「系統的肝切除」という考えに基づき、安全に確実に切除されます。最近はコンピューターシミュレーション技術が発達し、さらに緻密な手術が可能になりました。重要なことは出血量を少なくし、肝機能をできるだけ温存することです。また、開腹手術以外に腹腔鏡下手術も開発されていっています。

講師：國土 典宏 (こくどのりひろ) 先生 / 司会：渡辺 千鶴
東京大学大学院医学系研究科 肝胆脾外科学分野

1981年、東京大学医学部卒業後、東京大学第二外科入局。米国ミシガン大学留学を経て癌研附属病院外科医長。2001年東京大学助教授、2007年より現職。専門は肝がん、膵がん、胆管がんの外科治療と肝移植。日本外科学会理事長。肝臓診療ガイドライン2013年版改訂委員長を務めた。

膀胱がん治療の overview

NEXT3

膀胱がん、その治療選択肢を知る



尿路がんの中でも頻度が高い膀胱がん。60歳以降に発症することが多く、喫煙がリスク因子とされています。再発を繰り返すことが多い、筋層に癌が及んでいないタイプに対する再発予防の治療法や、筋層に癌が浸潤しているタイプに対する根治的治療(全摘・尿路変更、放射線治療)など、最近のトピックスを含めた最新治療情報を膀胱がんの専門医よりお伝えします。

講師：菊地 栄次 (きくち えいじ) 先生 / 司会：小島 あゆみ
慶應義塾大学 泌尿器科教室

平成6年慶應義塾大学医学部卒業、医学博士。平成13年米国メモリアルスロンケタリング癌センター留学、現在慶應義塾大学医学部専任講師。日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、内分泌・甲状腺外科専門医、泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本性機能学会専門医。著書に「排尿トラブル処方せん」。専門は膀胱癌、前立腺癌、前立腺肥大症、勃起不全。

Room C

今日のキレイを明日の希望に！プラチナメイク&フォトプログラム

主催：ティール&ホワイトリボンプロジェクト (※事前予約制・当日の受付はありません / 10:00 ~ 16:00)

【プラチナメイク&フォトプログラムについて】がん患者さんを対象にプロのヘアメイクアップアーティストとフォトグラファーによるヘアセット&メイクアップ&写真撮影を提供します。ウィッグの試着も可能です。がん治療中の女性にとっては、自身の美しい姿を客観的に認識し、写真として記録しておくことは、本人だけでなく、家族・友人等にとっても重要な意味を持ちます。またメイクは、がん体験者の気持ちを明るくポジティブにする効果があると報告されています。ティール&ホワイトリボンプロジェクト(以下TWR)は昨年6月に、株式会社ポーラの協力を得て、4名の女性がん体験者にメイクを実施し、美しい状態をプロのフォトグラファーにより写真にキープする「今日のキレイを明日の希望に~プラチナメイク&フォト~」プログラムを実施しました。

詳細はTWRのWebサイトを是非、ご覧ください。http://www.sikyukeigan.net/female/makeup/



頭頸部がんの治療

根治と生活の質の向上を目指して！

Open College



頭頸部がんは嚥下や発声など重要な機能を持つ臓器に発生します。部位やタイプによって治療方針や生活への影響もさまざまです。国内外での最近の情報をもとに、最新の治療に関する有益な情報をいち早くお伝えいたします。

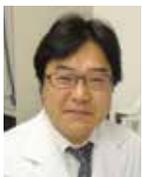
講師：藤井 正人（ふじい まさと）先生／司会：古賀 真美
東京医療センター 耳鼻咽喉科

1977年に慶應義塾大学医学部を卒業し、頭頸部外科医として一貫して頭頸部がんの治療にあたった。癌化学療法ではシスプラチン、SI、ドセタキセルなど、厚労省認可のための多くの臨床試験にたずさわってきている。頭頸部がんの治療では手術療法の発達と化学放射線治療の標準化が進んでいる中、2011年から日本臨床腫瘍グループ（JCOG）頭頸部がんグループが発足し代表として我が国の頭頸部がんに対する標準治療の確立を目指して活動している。

肝臓がんの薬物治療

肝臓がんのお薬は効くの？ 進歩する薬物療法

NEXT2



肝臓がんには有効な抗がん剤がなく、全身化学療法は行われてきませんでした。しかし、がん細胞の増殖やがん栄養を送る血管がつくられるのを抑制して、効果を発揮する分子標的薬が登場し、治療が大きく変わってきています。

講師：古瀬 純司（ふるせ じゅんじ）先生／司会：渡辺 千鶴
杏林大学医学部内科学腫瘍内科

1956年岐阜県生まれ。84年千葉大学医学部卒業。同大医学部附属病院第一内科研修医、清水厚生病院内科医、社会保険船橋中央病院内科医長などを経て92年、国立がんセンター東病院勤務。01年から1年間、アメリカのトーマス・ジェファーソン大学放射線部・腫瘍内科学客員研究員。08年より杏林大学医学部内科学腫瘍内科教授・同大病院がんセンター長に就任、現在に至る。

前立腺がん②薬物療法

今年は新薬が続々登場します！

NEXT1



近年、前立腺がんの薬物療法においては、とくに再発・再燃時に適応となる新薬が複数登場してきています。経過が長い前立腺がんと自分らしく向き合うために、たくさんの選択肢を知り、備えておきましょう。

講師：赤倉 功一郎（あかくら こういちろう）先生／司会：川上 祥子
JCHO 東京メディカルセンター

1984年千葉大学医学部卒業。1990年千葉大学大学院修了（医学博士）。1990-93年カナダ・ブリティッシュコロンビア癌研究所留学。千葉大学助教授を経て、2002年より東京厚生年金病院泌尿器科部長。2007年より同院長補佐（兼任）。2014年JCHO 東京新宿メディカルセンターに病院名変更。日本泌尿器科学会専門医・指導医。アメリカ泌尿器科学会・国際泌尿器科学会会員。前立腺癌ワークショップ最優秀賞（1990年）。日本泌尿器科学会坂口賞（2000年）。前立腺癌間欠的ホルモン療法を世界で初めて開発したグループのひとり。

腎がん

腎がん、手術から進歩する薬物療法まで

NEXT3



泌尿器がんの中で膀胱がん、前立腺がんについて多い腎がん。また成人の腎臓にできる悪性腫瘍の約90%が腎細胞がんです。根治切除不能もしくは転移性の腎細胞がんに対して効果を発揮する分子標的薬についてなど、最新の情報と今後についてお伝えします。

講師：近藤 恒徳（こんどう つねのり）先生／司会：小島 あゆみ
東京女子医科大学病院 泌尿器科 腎臓病総合医療センター 准教授

1990年北海道大学医学部卒業。1994年から2年間米国クリーブランドクリニック泌尿器科に留学。帰国後は埼玉県戸田中央組合病院泌尿器科部長を経て、2008年より東京女子医科大学泌尿器科講師、2013年より同准教授に就任している。泌尿器科腫瘍とくに、腎臓の手術では、全国で最も多い件数を誇っている。近年は腎温存手術を積極的に行い、近年はロボット手術も導入している。手術療法および薬物療法における本邦におけるオピニオンリーダーとして邁進している。

Gallery 2

こども大学医学部サマースクール（※事前予約制）～こども大学医学部の体験セミナーで医療への関心を高め、医師の仕事のお話などを通じて良く理解してもらうことで、将来の進路を考える時のヒントにしてください～

※当日に欠員が出た場合のみ、開催時間5分前から先着順で受付します。当日欠員が出ない場合は受付はありませんので何卒ご了承ください。

心臓(しんぞう)ピクニック

事前予約制：(1)10:00～10:30 (2)10:45～11:15

※保護者の方の見学・参加可【対象者】小学生【定員】各12人



みなさんは知っていますか？心臓(しんぞう)は生命を維持(いじ)するために、毎日10万回以上動いています。しかし、その鼓動(こどう)を、きんちょうした

時やけがをした時など、特別な場合以外、意識することはありません。本ワークショップでは、心臓ボックスで自分の鼓動を感じたり、お友達やお父さん、お母さんの心臓ボックスと交換したり、運動による鼓動の変化を確認しながら、命の大切さを考えます。最後には、みなさんがドキっとするような体験も待っています。どうぞお楽しみに!!

講師：坂倉 杏介氏

慶應義塾大学 グローバルセキュリティ研究所 特任講師

講師：渡邊 淳司氏

NTTコミュニケーション科学基礎研究所 人間情報研究部 感覚表現グループ 主任研究員

全国PUSH:心肺蘇生とAED使用法を習得しよう!

事前予約制：11:30～13:00

※保護者の方の見学・参加可【対象者】小学生(中・高校生も可)【定員】30人



今年では日本で一般の方々もAEDを使用できるようになって10周年です。学校現場でも多くのAEDは配備されています。

8月10日は健康ハートの日。今年も8月9日10日には全国PUSHとしてさまざまな心肺蘇生とAED使用法のトレーニングコースが全国で開催されており、この企画もその一つです。PUSHプロジェクトでは、胸骨圧迫(心臓マッサージ)だけの誰でもできる心肺蘇生(そせい)法の普及活動を行っています。今回のプログラムでは多くの皆さんにこれらを学んでもらうことで、学校などで突然倒れた方の救命率向上を目指します。小学校低学年から高学年はもちろん、中学生や高校生でもご参加いただけます。

講師：太田 修司氏/武田 聡氏

東京慈恵会医科大学(NPO法人愛宕救急医療研究会)

がんと遺伝

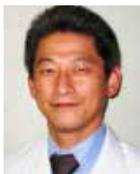


日本人の2人に1人が生涯でがんにかかると言われています。その一方で「がん家系だから、がん家系でないから」という話題もよく聞かれます。本セミナーでは遺伝性の腫瘍と家族性の腫瘍との違い、遺伝子検査や予防について、また遺伝性腫瘍の治療について詳しくご講演頂きます。

精巣腫瘍

Open College

合言葉は Get a Grip !! その意味は？



精巣腫瘍は若年者に多いことが特徴です。初期症状が少なく進行がとても早いですが、転移があっても80%以上で治療が望めます。早期発見・早期治療が重要で、きちんと治療することが大切です。そのための正しい知識を提供します。

講師：中村 晃和（なかむら てるかず）先生／司会：改發 厚
京都府立医科大学 泌尿器科学 講師／京都府立医科大学附属病院化学療法部副部長

1993年京都府立医科大学医学部卒業。関連病院および大病院で初期および後期研修を行う。後期研修期間中より、泌尿器科がんに関する研究、診療を開始。1999年4月から京都府立医科大学大学院に進み癌の基礎研究に従事。3・4年次にマウントサイナイ病院（トロント、カナダ）に研究留学。帰国後、泌尿器がんの研究、診療に専念する。2004年から京都府立医科大学助教、2009年5月からは同講師および京都府立医科大学付属病院化学療法部副部長。難治性精巣腫瘍の患者さんが集まる環境のもと、主に精巣腫瘍の診療に特に注力している。

がんと漢方薬

NEXT2

漢方薬ってがんの効果あるの？



がん患者さんの多くが興味を持っている漢方薬。がん治療の副作用を漢方薬が和らげることができるのでしょうか。これまで行われてきた科学に基づいた、研究に裏づけされた漢方薬の有効性について、最新の結果を紹介しながら分かりやすくお伝えします。

講師：上園 保仁（うえぞの やすひと）先生／司会：増田 美加
国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野

1985年 産業医科大学卒業、1989年 医学博士。1991年より約3年米国カリフォルニア工科大学生物科学部に留学。1994年より2008年まで産業医科大学、宮崎医科大学、長崎大学医学部薬理学講座にて基礎医学に従事、新薬開発に至る研究を行う。2009年より国立がん研究センター研究所、がん患者病態生理研究分野副部長として、がん患者のQOL維持向上を目指すための基礎から臨床に至るトランスレーショナルリサーチを行っている。現在は特に、漢方薬の作用機序解明およびがん患者への漢方薬の有効性の検証についての臨床研究を行っている。

こども大学医学部サマースクール

Gallery 2

※当日に欠員が出た場合のみ、開催時間5分前から先着順で受付します。当日欠員が出ない場合は受付はありませんので何卒ご了承ください。

しんぞうのしくみを知っているかい？



小学生が医学を学ぶときょうキッズメディカルスクールの体験プログラムをお届けします。いつも休みなく動き続ける心臓。そのしくみをしっかり学習して

きましょう。聴診器や超音波検査装置を使った実習も行います。お医者さんは聴診器を胸に当てて何を聴いているのでしょうか？心臓の様子を調べるにはどんな検

アンジェリーナ・ジョリーの決断とは？

シアター

講師：山内 英子（やまうち ひでこ）先生／司会：川上 祥子
聖路加国際病院 乳腺外科部長・プレストセンター長

1987年順天堂大学医学部卒業。聖路加国際病院外科レジデントを経て、1994年渡米。ハーバード大学ダナファーマー癌研究所、ジョージタウン大学ロンバーディ癌研究所でリサーチフェローおよびインストラクター。ハワイ大学にて外科レジデント、チーフレジデントを終了後、ハワイ大学外科集中治療学臨床フェロー、南フロリダ大学モフィット癌研究所臨床フェロー。2009年4月聖路加病院乳腺外科医長をへて、2010年6月より聖路加国際病院乳腺外科部長およびプレストセンター長。米国外科学集中治療専門医、米国外科認定医。アメリカでの乳がんの研究、臨床経験を生かし、患者に寄り添う診療を目指している。

肺がん外科治療

NEXT1

肺がん外科治療；これからの方向性



肺がん治療は病期（ステージ）、がん細胞のタイプによって治療法が異なります。ここでは、外科治療（胸腔鏡手術、開胸手術の適応）、合併症また術後補助療法の現状と選択について講演頂きます。

講師：坪井 正博（つばい まさひろ）先生／司会：福島 安紀
国立がん研究センター東病院 呼吸器外科 科長

横浜市立大学医学部外科治療学教室・客員教授、東京医科大学外科学第一講座・客員准教授。1987年東京医科大学医学部卒業。同大学外科第一講座および国立がんセンター中央病院等での研修を経て、1997年より東京医科大学病院呼吸器外科、2008年から神奈川県立がんセンターで肺がん診療全般に取り組み、2012年4月より現職。医学博士。ちよいメタボに悩む。座右の銘は、「運・鈍・根」。肺がんなど胸部悪性腫瘍に対する外科治療を中心とした集学的治療の診療と開発に取り組み。分かりやすい情報提供を通じて、個々の患者さんに最適で質の高いハートフルな診療を行うことが信条。

大腸がん外科治療

NEXT3

世界に冠たる日本の大腸がん外科治療を知る



大腸がんは、完全に切除できれば完治する可能性が高いがんです。このため、他の臓器に転移がある場合でも積極的に手術を行います。手術方法には、内視鏡、腹腔鏡、開腹手術があり、進行度、病期（ステージ）に応じて手術方法を選択します。

講師：佐藤 武郎（さとうたけお）先生／司会：渡辺 千鶴
北里大学医学部 外科学

1994年3月北里大学医学部卒業後、北里大学外科学に入局。2000年4月からドイツHamburg大学Eppendorf病院留学。2002年帰国後から、大腸肛門疾患、とくに大腸癌治療（手術・化学療法・化学放射線療法）を専門としている。手術では、腹腔鏡手術を中心とした先進的医療を行っている。2006年4月から北里大学医学部外科学診療講師、北里大学東病院消化器外科下部消化管主任、2008年医学博士号取得。2010年から同外科学医局長。2012年8月から同専任講師。GI-Cancer Net 編集委員。

事前予約制：14:00 ~ 15:30

※保護者の方の見学・参加可【対象者】小学生【定員】12人

查があるでしょう？親子での参加を歓迎します。からだの仕組みを知ることは、命の不思議・命の素晴らしさを知ることです。なぜ、今、こどもの医学教室なの？～命の素晴らしさを知って、自分の命やひとの命を大事にできる子どもに育ててもらいたい、そんな願いから、この教室はスタートしました。

講師：澤田 めぐみ 氏

とうきょうキッズメディカルスクール

がん検診ホントのこと

知っていますか？検診のメリット・デメリット

シアター



がん検診は、がん対策の重要な柱ではありますが、多くの問題を抱えています。そもそもがん検診って何か？誰がどこで受けるべきなのか？がん検診の表と裏を皆さんにお伝えします。

講師：中山 富雄（なかやまとみお）先生／司会：平子 義紀
大阪府立成人病センター

1989年、大阪大学医学部卒業後、大阪府立成人病センター呼吸器内科を経て府立成人病センター調査部疫学課勤務。2009年より現職。専門分野はがん集団検診の有効性評価、精度管理。大阪府がん対策推進委員会がん検診・診療部会長。

がんと妊孕性 治療するだけの時代は終焉

Open College



がん治療成績は日々向上し、多くの方々がかんサーサバイバーとして生活するようになりました。しかし、化学療法等による性腺への影響は不妊等の問題を残します。今回は、急速に進む、がん治療における妊孕性温存のための医療の最新情報をお伝えしたいと思います。

講師：菊地 盤（きくち いわほ）先生／司会：古賀 真美
順天堂大学医学部 産婦人科

1994年、順天堂大学医学部卒業。2005年から順天堂大学医学部附属順天堂医院産婦人科講師、准教授を経て、2012年より、順天堂東京江東高齢者医療センター先任准教授。専門は腹腔鏡下手術で、従来の腹腔鏡よりもさらに低侵襲である、Reduced Port Surgeryの技術を活かし、2010年より、がん化学療法前の卵巣凍結保存を開始、2013年には本邦初の悪性腫瘍患者の卵巣移植・機能回復に成功した。

肺がん薬物療法 個別化治療が進む肺がん薬物療法の現状と将来

NEXT1



肺がんは、がん死亡数として一番多い疾患です。化学療法を受ける患者さんも多いです。ここ数年、既存の抗がん剤の投与方法の工夫や、特定分子をターゲットとした分子標的薬の開発が進み、肺がん薬物療法は大きく進化しています。このセミナーでは、現状と今後期の展望についてご講演頂きます。

講師：後藤 悌（ごとう やすし）先生／司会：福島 安紀
東京大学 呼吸器内科

2003年、東京大学医学部卒業。都内で研修後、2006年から国立がんセンター中央病院内科に勤務し、2010年より現職（東京大学医学部呼吸器内科）。肺がんに対し呼吸器学および腫瘍学の観点から治療に取り組む傍ら、医療の情報の質や伝達方法に関心をもち活動中。

代替療法 「利用する」「利用しない」あなたはどようする？

NEXT2



健康食品や民間療法など、補完代替療法に関する情報が氾濫しています。しかし、医師や薬剤師等の専門家に相談することもできず、宣伝・広告や人に勧められるがまま、不安を抱えながら利用している方が少なくありません。今回は皆様と一緒に、さまざまな補完代替療法との向き合い方を考えてみたいと思います。

講師：大野 智（おおの さとし）先生／司会：梅田 里衣
帝京大学医学部臨床研究医学講座 特任講師
早稲田大学先端科学・健康医療融合研究機構 客員准教授

1971年、静岡県浜松市生まれ。1998年鳥根医科大学（現鳥根大学医学部）卒業。腫瘍免疫学、がん免疫療法を主な研究テーマにしているが、補完代替医療や健康食品にも詳しく、「がんの補完代替医療ガイドブック」の作成を担当した。帝京大学緩和ケア内科、東京女子医科大学消化器外科などで癌患者の診療に当たっている。

大腸がんの薬物治療 分子標的薬がもたらした進歩 そして 化学療法と手術との組み合わせでもたらされた進歩

NEXT3



大腸がんの化学療法は、この10年余りで飛躍的に進歩しています。がんを小さくして手術で取れるようになる場合もあります。また、完全に治すことができない場合でも、がんが大きくなるスピードを抑えて、患者さんが元気に生活できる期間も長くなってきています。

講師：山口 研成（やまぐち けんせい）先生／司会：渡辺 千鶴
埼玉県立がんセンター 消化器内科

1990年3月防衛医科大学卒業。1996年8月埼玉県立がんセンター臨床検査部医員。1998年4月同 医長。2002年4月埼玉県立がんセンター消化器科医長。2005年4月埼玉県立がんセンター消化器内科副部長、現職に至る。元々は内視鏡医を行っていたが、埼玉県立がんセンター赴任を境に、化学療法を中心とした消化器がん診療を専門としている。

こども大学医学部サマースクール

Gallery 2

医学部を志す君たちへ～現役東大医師からのメッセージ～

事前予約制：16:00～17:00 ※保護者の方の見学可【対象者】医師を志す中・高校生【定員】30人



君たちの医学部進学への動機は何ですか？医学部を卒業した後には、病院、研究機関、行政や企業等のさまざまな進路があることを知っていますか？また医師の仕事というと、外科医や開業医はイメージしやすいですが「腫瘍内科医」を知っていますか？そんな話や、僕が医学部を志した理由、受験勉強のこと、医学部時代のこと、いまの仕事のことを君たちにフランクにお伝えしたいと思います。医学部進学、ということ

様々な角度から考えてみませんか？
講義を40分、その後の20分は、皆さんからの質問にお答えします。

講師：後藤 悌（ごとう やすし）先生／司会：福島 安紀
東京大学 呼吸器内科

2003年、東京大学医学部卒業。都内で研修後、2006年から国立がんセンター中央病院内科に勤務し、2010年より現職（東京大学医学部呼吸器内科）。肺がんに対し呼吸器学および腫瘍学の観点から治療に取り組む傍ら、医療の情報の質や伝達方法に関心をもち活動中。

がんと放射線



「放射線」と聞くと恐ろしいイメージが先行するかもしれませんが、確かにがんの原因にもなり得ますが、がんを見つけること、治療することにも貢献しており、がん治療において重要な役割を担っています。本講義では、放射線とがんの関係を整理してお伝えします。

放射線とがんの関係は・・・?!

シアター

講師：早川 和重 (はやかわ かずしげ) 先生/司会：川上 祥子
北里大学医学部放射線科学 (放射線腫瘍学)

1978年群馬大学医学部卒業。79年群馬がんセンター、80年癌研病院、81年群馬大学助手、83年山梨医科大学助手、85年群馬大学助手を経て、91年同講師。93年米国テキサス大学MDアンダーソンがんセンター留学。2000年北里大学医学部教授。2003年～北里大学病院副院長。日本医学放射線学会・日本放射線腫瘍学会の放射線治療専門医。本年の日本放射線腫瘍学会第27回学術大会の大会長。

胃がんの外科治療

Open College

進化する胃がんの外科治療



胃がんの手術は日本主導で国際的にもコンセンサスが得られてきました。比較的早期の胃がんには小さな傷で済む腹腔鏡手術を、またより進行したがんには抗がん剤治療の併用により生存率も向上しています。一昔前には治らないと考えられていた更に進行したがんにも、新たな臨床試験の結果、根治的な手術の可能性が示されています。腫瘍学の一貫として、胃がんの外科治療も常に進化しています。

講師：円谷 彰 (つぶらや あきら) 先生/司会：小西 敏郎
横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター

1983年北大医学部卒、横浜市大第一外科入局。癌研病院、米国メモリアルスローンケタリングがんセンター等での研修を経て、2006年より神奈川県立がんセンター、2014年より現職。胃癌中心に診療・研究推進およびガイドライン作成や研究推進委員を務める。外科医のノンテクニカルスキル (NOTSS) 向上プロジェクトも国際協同で行っている。

乳がん外科治療

NEXT1

全摘?温存?ホルモン治療?化学療法?どう選択すればいいの?



乳がん治療は、そのがんのタイプによって治療法が異なります。また患者自身のバックグラウンドなどによって、治療法の選択は異なるかもしれません。患者が自身にとって最適な治療を選択出来るよう、乳がんと診断された後の治療(初発治療)について、乳がんのタイプごとの治療の適応、治療の選択について講演頂きます。

講師：山内 英子 (やまうち ひでこ) 先生/司会：真水 美佳
聖路加国際病院 乳腺外科部長・プレストセンター長

1987年順天堂大学医学部卒業。聖路加国際病院外科レジデントを経て、1994年渡米。ハーバード大学ダナファーバー癌研究所、ジョージタウン大学ロンバード癌研究所でリサーチフェローおよびインストラクター。ハワイ大学にて外科レジデント、チーフレジデントを終了後、ハワイ大学外科集中治療学臨床フェロー、南フロリダ大学モフィット癌研究所臨床フェロー。2009年4月聖路加病院乳腺外科医長をへて、2010年6月より聖路加国際病院乳腺外科部長およびプレストセンター長。米国外科学集中治療専門医、米国外科認定医。アメリカでの乳がんの研究、臨床経験を生かし、患者に寄り添う診療を目指している。

血液がんの治療

NEXT2

飛躍的に進む血液がん治療



白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液がんには近寄りたがたい雰囲気があり、ドラマ等では話題性のために脚色され、一般の方々に誤解や偏見を与えることがあります。諸外国や日本の血液学会のトピックを含め、最新の疾患情報を分かりやすくお届けします。

講師：奥田 慎也 (おくだ しんや) 先生/司会：古賀 真美
JR 東京総合病院 血液・腫瘍内科

東邦大学卒業後2001年より同大学附属病院第一内科、血液・腫瘍科で研修を行い、2005年から国立国際医療センター(現、国立国際医療研究センター)、2007年より自治医科大学附属さいたま医療センターに勤務しました。様々な血液疾患を診させて頂くと共に国立国際医療センターでは自家移植を、自治医大では同種移植を学びました。2012年より現職。今までの経験と最新の知識を踏まえ、最善の治療を提供できるよう努力しております。

卵巣がん

NEXT3

日本の卵巣がんの現状、診断と治療の実際を知る



早期発見の手段もなく、治療も難しいがんとされる「卵巣がん」。しかし患者数は増加傾向であり、より良い治療法の確立が急務とされています。卵巣がんの基礎知識に加え、卵巣がん治療の最新情報をお伝えします。

講師：上坊 敏子 (じょうぼう としこ) 先生/司会：梅田 里衣
相模野病院 婦人科

1973年、名古屋大学医学部卒業。北里大学病院での5年間の研修後、北里大学医学部研究員、講師、助教授を経て、2007年に教授に。2007年4月から社会保険(現独立行政法人JCHO)相模野病院婦人科腫瘍センター長、北里大学医学部客員教授。専門は婦人科腫瘍学。細胞診専門医、国際細胞学会フェロー、婦人科腫瘍専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医。

※当日に欠員が出た場合のみ、開催時間5分前から先着順で受付します。当日欠員が出ない場合は受付はありませんので何卒ご了承ください。

とつげき!キッズ記者 ~お医者さんにインタビューしてみよう~ (※若干名当日受付可)

事前予約制：17:00 ~ 17:30 ※保護者の方の見学可【対象者】小学生高学年【定員】各30人

小学生を対象とした子ども記者体験のイベントを実施。現役のお医者さんに、普段聞けないこと!質問してみよう。インタビューのしかたは、現役記者から伝授します。



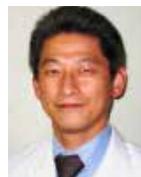
講師：後藤 悌先生
東京大学 呼吸器内科



講師：三鍋 俊春先生
埼玉医科大学 総合医療センター
形成外科・美容外科



講師：奥田 慎也先生
JR 東京総合病院
血液・腫瘍内科



講師：中村 晃和先生
京都府立医科大学 泌尿器科学 講師
京都府立医科大学附属病院化学療法部副部長



講師：山内 英子先生
聖路加国際病院 乳腺外科部長
プレストセンター長

いのちの落語 – 笑いは最高の抗がん剤



「がんを抱えて笑ってられるか」。でも、がんのつらさを知っている仲間同志なら思いっきり笑えて気持ちがスッキリします。これが「いのちの落語」です。会場で笑いは最高の抗がん剤、「生きてるだけで金メダル」を実感してみてください。

講師：樋口 強（ひぐち つよし）さん／司会：平子 義紀
いのちの落語家・作家

企業人として新規事業立ち上げの最前線にいた43歳のとき、悪性度が高く生存率が極めて低いと言われている肺小細胞がんに出会い、手術と抗がん剤治療で乗り越えたものの、抗がん剤の後遺症である全身のシビレが今も続いている。東京・深川で年1回開催する涙と笑いの『いのちの落語』は大きな反響を呼び、毎年たくさんのがんの仲間と家族が全国から駆けつけている。NHK、大手新聞はじめメディア登場歴多数、『いのちの落語』ほか著書多数、社会に感動を与えた市民に贈られる「シチズン・オブ・ザ・イヤー」受賞。

胃がんの薬物治療

Open College

世界をリードする胃がん薬物療法を知る



胃がんの抗がん剤は最近10年で種類も増え、大腸がんや乳がんなどで用いられているような分子標的薬剤にも効果が期待されています。また、国内外では胃がんに対する新しい抗がん剤の臨床試験が行われています。今後、新しい分子標的薬剤によって進行胃がんの化学療法の治療成績が向上することが期待されます。

講師：山口 研成（やまぐち けんせい）先生／司会：小西 敏郎
埼玉県立がんセンター 消化器内科

1990年3月防衛医科大学校卒業。1996年8月埼玉県立がんセンター臨床検査部医員。1998年4月同 医長。2002年4月埼玉県立がんセンター消化器科医長。2005年4月埼玉県立がんセンター消化器内科副部長、現職に至る。元々は内視鏡医を行っていたが、埼玉県立がんセンター赴任を境に、化学療法を中心とした消化器がん診療を専門としている。

乳がん薬物療法

NEXT1

乳がん薬物療法 世界の潮流



乳がんの薬物療法はがん遺伝子のタイプによってそれぞれ異なります。新たな薬剤も承認され、治療の選択肢も増えてきました。本セミナーでは、再発、進行乳がんの薬物療法の最新トピックス等についてご講演頂きます。

講師：佐々木 康綱（ささき やすつな）先生／司会：福島 安紀
昭和大学医学部腫瘍内科 教授

長野県出身。1980年、昭和大学医学部卒業後、1984年国立がんセンター病院 呼吸器内科研修医を経て医員に。1990年米国メリーランド州立大学がんセンター客員研究員、1992年国立がんセンター東病院病棟部5B病棟（化学療法科）医長、2002年埼玉医科大学臨床医学系内科部門臨床腫瘍科教授、2007年より埼玉医科大学国際医療センター腫瘍内科教授を経て現在に至る。専門は、固形がんの薬物療法、開発的治療研究、抗悪性腫瘍薬の薬理学。昭和大学腫瘍分子生物学研究所長併任。

がん情報とインターネット

NEXT2

正しい情報を見分ける方法伝授します



今やインターネットはがん患者さんの一番の情報源。しかしインターネット上のがん情報は膨大で、かつ玉石混交です。このセミナーではインターネット上で信頼性が高く、有益な情報をスムーズに得るために役立つ情報をお届けします。

講師：後藤 悌（ごとう やすし）先生／司会：梅田 里衣
東京大学 呼吸器内科

2003年、東京大学医学部卒業。都内で研修後、2006年から国立がんセンター中央病院内科に勤務し、2010年より現職（東京大学医学部呼吸器内科）。肺がんに対し呼吸器学および腫瘍学の観点から治療に取り組む傍ら、医療の情報の質や伝達方法に関心をもち活動中。

子宮体・頸がん

NEXT3

子宮がんは一つの病気ではありません、二つの子宮がんを正しく知ってほしい



子宮がんには、子宮頸部に発生する「子宮頸がん」と子宮体部に発生する「子宮体がん」の2種類があります。2つのがんは、原因、症状、診断法、治療法などが全く異なります。これらについての最新情報と、どう向きあうべきなのかをお伝えします。

講師：上坊 敏子（じょうぼう としこ）先生／司会：小島 あゆみ
相模野病院 婦人科

1973年、名古屋大学医学部卒業。北里大学病院での5年間の研修後、北里大学医学部研究員、講師、助教授を経て、2007年に教授に。2007年4月から社会保険（現独立行政法人JCHO）相模野病院婦人科腫瘍センター長、北里大学医学部客員教授。専門は婦人科腫瘍学。細胞診専門医、国際細胞学会フェロー、婦人科腫瘍専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医。

がんサバイバーのためのヨガ

Gallery 3

がんサバイバーのためのヨガ “Sit Less and Stay Active!!” ~ Fitness for Cancer Survivors ~

事前予約制：① 10:00 ~ 11:50 ② 13:00 ~ 14:50 ③ 15:00 ~ 16:50 【定員】各12名

“Sit Less and Stay Active!!” 日本は欧米に比べて、まだまだがんサバイバーに対する運動の意義が知られておりません。気持ちが沈みがちなときや疲れがとれないときは、ヨガが効果的。一緒に、ゆったりと優しい時間をすごしましょう。皆様のご来場をお待ちしています。

■講義 (15分): 運動の予防効果/がんサバイバーの運動 (各エビデンス紹介)

■ヨガ体験 (60分)

■講義 (15分): どんな運動を?どれくらい?/ヨガのエビデンス/質疑応答

※各回定員12名(がんサバイバー優先) ※動きやすい服装でお越し下さい。

講師：山内 やよい（やまうち やよい）先生
早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 博士後期課程

2000年にアメリカでヨガに出会う。帰国後指導員資格を取得。育児期の母親向けのヨガ教室や、都内小学校、幼稚園にて健康講座や食育講座を担当。フィットネスクラブの運営に携わった後、2011年より早稲田大学大学院スポーツ科学研究科に進学。現在博士後期課程に在籍し、がんサバイバーに対する運動支援についての研究、およびがんサバイバー向けヨガプログラムの開発に励んでいる。健康運動指導士、介護予防運動指導員。



がん教育の現状と課題



「がん教育」の定義とは？生徒たちの反応は？国は今後どのように取り組んでいこうとしているのか？などがん教育の現場で起きていることを事例をご紹介します。お伝えします。

がん教育の現場と国の動向

講師：阿南 里恵（あなみ りえ）先生／司会：平子 義紀
厚生労働省がん対策推進協議会委員

1981年生まれ、大阪府出身。23歳の誕生日を迎えた直後に子宮頸がんが見つかり、抗がん剤、手術、放射線治療を行う。治療の影響や後遺症の為に職場復帰を一旦断念し、その後も就労に困った。5年間の経過観察を終え子宮頸がん啓発セミナーなどで講演活動を始め、中学・高校などでは「がん教育」や「いのちの授業」を実施してきた。厚生労働省 がん対策推進協議会の委員として国のがん対策に携わっている。

甲状腺がんの診断と治療 がんを正しく怖がる、とはどういうことか？

Open College



震災後なにかと話題の多い甲状腺がんですが、その多くは予後の良好な乳頭がんです。腫瘍の成長速度も遅いケースが大半ですが、まれに予後の悪い甲状腺がんもあります。甲状腺がん全般について、惑わされることのないよう最新の正しい知識を持ちましょう。

講師：杉谷 巖（すぎたに いわお）先生／司会：古賀 真美
日本医科大学 内分泌外科

1963年、東京の下町生まれ。幼少期病弱で、小学4年の1学期は全休。この頃、医師志望を想起。高校時代、文科系の能力には恵まれたが、数学・物理はかなりやばい状態。ひそかに精神科医になろうと決意も、柳田邦男の「がん回廊の朝」の影響で、がん研究に関心。1989年、東大医学部卒業。元国際内分泌外科学会会長の藤本吉秀先生のご指導により、甲状腺・内分泌外科を志す。病気の特徴を見きわめて、一人一人の患者さんごとに最も適切な治療を行うことを目指し、甲状腺がんの治療に取り組む。20年の経験を後進に伝えたい気持ちが高じて、2013年4月より日本医科大学に異動。

乳房再建

NEXT1

乳房再建わたしにとってのベストチョイスを知る



昨年、インプラントを使用した乳房再建も保険適応になり、今後乳房再建の需要は増えていくことが予想されます。乳房再建の方法、時期など、選択肢は様々あり、患者は、乳がんと診断されたときから乳房再建のオプションも含め治療法を選択していくこととなります。このセミナーでは、患者自身が納得して自分に合った再建方法見つけるために、自家組織を使った再建、インプラントを使った再建のそれぞれの最新情報及び、メリット、リスクなどわかりやすく講演して頂きます。

講師：三鍋 俊春（みなべ としはる）先生／司会：溝口 綾子
埼玉医科大学 総合医療センター 形成外科・美容外科

乳房は本当に女性にとって大事なもので、女性らしさの象徴として年齢を超えて慈しまれるものであるはずですが、しかし、乳癌という女性特有の疾患により突然にやむなく乳房を喪失することがあります。これに対しては、乳房再建という治療法があります。2013年、厚生労働省がシリコンインプラントによる乳房再建術に保険適応を認めたことにより、乳房再建が乳癌治療の一環として正当かつ必要な治療であることが公に認められることになりました。今まで再建手術は費用面や生活面でハードルが高いと感じていた患者様たちも手を振ってこの治療を受けていただけます。われわれ治療者もとても喜んでます。Your happiness is our happiness（埼玉医科大学のコンセプトです）

がんと数字

NEXT2

「5年生存率50%」ってどんな意味？



がん統計や臨床試験結果をどう読むか、エビデンスのレベルとは、生存率とはなど、日頃がんに関する情報の中で見られる数字やデータについて分かりやすく解説し、現状や展望を正しく把握するための内容をお伝えします。

講師：山本 精一郎（やまもと せいいちろう）先生／司会：梅田 里衣
国立がん研究センターがん予防・検診研究センター保健政策研究部 部長

1996年東京大学大学院医学系研究科保健学専攻博士課程修了後、国立がんセンター研究所がん情報研究部研究員として入職、現在、独立行政法人国立がん研究センター予防・検診研究センター保健政策研究部部長。生物統計家として多くの臨床試験に携わるとともに、疫学研究など多くの医学研究を自らも実施している。臨床研究教育 e-learning サイト ICRweb を中心に臨床研究方法論の教育にも取り組んでいる。日本臨床腫瘍学会、日本疫学会評議員。内閣府食品安全委員会新開発食品専門調査会専門委員。

食道がん

NEXT3

食道がんにおける手術・放射線・薬物療法の役割は？



食道がんの治療には内視鏡治療、外科手術、化学療法、放射線治療や、これらを組み合わせた治療があります。病気の進行度や患者さんのお体の状態などにより、それぞれの患者さんに最も適切と思われる治療が行われます。

講師：小島 隆嗣（こじま たかし）先生／司会：渡辺 千鶴
国立がん研究センター東病院 消化管内科

熊本大学医学部を卒業し、熊本大学医学部附属病院、関連病院で勤務。その後、国立がん研究センター東病院（消化管内科レジデント）、静岡がんセンターを経て、現在、国立がん研究センター東病院消化管内科医員として勤務。

※当日に欠員が出た場合のみ、開催時間5分前から先着順で受付します。当日欠員が出ない場合は受付はありませんので何卒ご了承ください。

ヨガ指導者用レクチャー “Sit Less and Stay Active!!” ~ Fitness for Cancer Survivors ~

事前予約制：17:00 ~ 17:50 【定員】20人

ヨガの効果についての科学的エビデンスの他、がんサバイバーに対する運動療法、ヨガ指導時の Tips など、座学中心の30 ~ 40分です。

■講義

- ・ヨガの全般的なエビデンスについて
- ・がんサバイバーに対するヨガの科学的根拠
- ・がんサバイバーに対する運動療法と指導時の注意

※現在ヨガを指導されている方で、がんサバイバーへの指導に興味の有る方を対象としています。

講師：山内 やよい（やまうち やよい）先生
早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 博士後期課程

がん治療の真実

シアター

がんを放置しても治る、は本当か!?



近年、がん治療の進歩は目覚ましい一方で、「食事でがんを治す」、「抗がん剤治療は不要」、といった論説が支持される現実を直視し、何を根拠に治療を選択すべきか、エビデンスを創る・実践する立場の腫瘍内科医として、がん治療の真実を皆さんと一緒に考えます。

講師：勝俣 範之(かつまたのりゆき)先生/司会：平子 義紀
日本医科大学 武蔵小杉病院 腫瘍内科

2011年10月より、20年間務めた国立がん研究センター中央病院を退職し、日本医科大学武蔵小杉病院で、腫瘍内科を立ち上げた。がん患者さんのための理想のがん診療を目指し、「がん」という病気を通して、患者のための医療とは？国民のための医療とは？人間のための医療とは？を考えBrog, TwitterやFacebookを通し、発信している。近著に「抗がん剤は効かない」の罪(毎日新聞社刊)がある。

皮膚がんの治療 2014
新しい時代を迎える皮膚がん治療

Open College



しみ?ほくろ?見分けにくい皮膚がん、紫外線の影響や関係など、近年急増していると伝えられる報道の真意はいかに。身近ながんだからこそ知っておくべき情報があります。信頼できるエビデンスにのっとった皮膚がんの治療と予防についてトピックを交えてお伝えします。

講師：山崎 直也(やまざき なおや)先生/司会：古賀 真美
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

1985年3月岐阜大学医学部卒業。岐阜大学医学部皮膚科学教室入局後1987年国立がん研究センターレジデント、がん専門研修医を経て皮膚科医員となる。2003年4月国立がん研究センター中央病院遺伝子免疫療法室医長、2005年5月国立がん研究センター中央病院皮膚科医長、2010年より国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科科長。日本皮膚悪性腫瘍学会副理事長、日本癌治療学会代議員、日本皮膚外科学会評議員、日本バイオセラピー学会評議員。2009年「悪性黒色腫に対する新しい診療体系の確立に関する研究」に国立がんセンター田宮記念賞受賞。

骨転移

NEXT1

骨転移は安静が一番ってほんとなの？



骨転移の治療やケアの際、病的骨折を予防するために「まずは安静」、と考えられがちですが、「どこまで動かして良いか」「安全に動かすためにどんな工夫ができるか」という整形外科の視点でアプローチすることで、患者さんのQOLをより高めることに貢献できます。本講義では、他診療科との連携も含めた実例もご紹介いたします。

講師：篠田 裕介(しのだ ゆうすけ)先生/司会：川上 祥子
東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科

1998年東京大学医学部卒業。同年東京大学医学部整形外科に入局した。その後、大学院や大学病院を含む、様々な病院で勤務したが、2年目に癌研究会附属病院にて1年間骨軟部腫瘍の研修をしたことが契機となり、骨軟部腫瘍を専門とすることを決意した。2012年東大病院骨転移がんセンターの立ち上げに関わり、現在は東大病院の骨転移がんセンターの事務局長を担当している。東京大学医学部附属病院整形外科助教、日本整形外科学会専門医、がん治療認定医。

がんとお金

NEXT2

知っておくべき公的医療制度や民間保険
私にとってのベストチョイス



健康食品や民間療法など、補完代替療法に関する情報が氾濫しています。しかし、医師や薬剤師等の専門家に相談することもできず、宣伝・広告や人に勧められるがまま、不安を抱えながら利用している方が少なくありません。今回は皆様と一緒に、さまざまな補完代替療法との向き合い方を考えてみたいと思います。

講師：黒田 尚子(くろだ なおこ)先生/司会：賢見 卓也
ファイナンシャル・プランナー

立命館大学法学部修了後、(株)日本総合研究所に入社、SEとして、おもに大学関係のシステム開発に携わる。在職中に、自己啓発の目的でFP資格を取得後、独立系FPとして転身をはかる。現在は、セミナー・FP講座等の講師、書籍や雑誌・Webサイト上での執筆、個人相談を中心に幅広く行う。2010年1月、消費生活専門相談員資格を取得、消費者問題にも注力。また、2009年12月の乳がん告知を受け、2011年3月に乳がん体験者コーディネーター資格(BEC)を取得するなど、自らの実体験をもとに、がんに対する経済的備えの重要性を訴える活動を行う。

すい臓がん

NEXT3

進歩するすい臓がんに対する薬物療法を知る



すい臓がんの治療には、手術、薬物療法(化学療法)、化学放射線療法などがあります。治療法はがんの広がり方、全身状態、患者さん本人の希望、等によって決まります。よりよい治療法を開発するための研究も活発に行われています。

講師：奥坂 拓志(おくさか たくじ)先生/司会：福島 安紀
国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

平成2年 岐阜大学医学部卒業。聖隷三方原病院内科、国立がんセンター中央病院肝胆膵内科を経て、平成22年から国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科 科長。肝胆膵悪性腫瘍の内科的治療を専門領域とし、現在、腫瘍診療ガイドライン改定委員会 副委員長、化学療法チーフ、胆道腫瘍診療ガイドライン作成委員会 化学療法担当委員、膵・消化管神経内分泌腫瘍ガイドライン作成委員会 内科治療担当委員、がん治療用ペプチドワクチンガイドライン作成委員会 作成委員を務める。

Pirates of Tokyo Bay ショー

Gallery 1

17:30 ~ 18:30



関東で活躍する唯一のバイリンガル即興コメディグループです。大阪のパイレーツオブ道頓堀(2005年)からスタートし、2010年に姉妹グループとして東京にパイレーツオブ東京湾を設立しました。毎月、東京の3ヶ所(恵比寿・バイリンガル)、(新宿・日本語)、(西麻布・英語)でたくさんの笑いをたくさんのお客様にお届けしています！是非、足を運んでみてください！！皆様のご来場、心よりお待ちしております。

<http://piratesoftokyobay.com/>

子宮頸がんのワクチン



子宮頸がん予防のためのHPVワクチンは、受けた方がいいの？受けない方がいいの？子宮がん検診は、何歳から、何時、何処で受ければいいのか？子宮頸がんの発生の原因はセックスなの？子宮頸がんに関するホントのこと、誤解、偏見についても考えます。

子宮頸がんワクチンについて整理しましょう

シアター

講師：落合 和徳（おちあい かずのり）先生／司会：平子 義紀
東京慈恵会医科大学附属病院 産婦人科

1974年に東京慈恵会医科大学卒業後、産婦人科を専攻、1978年から4年間米国で研修を積み、帰国以来一貫して婦人科腫瘍の診療に従事してきた。2000年に慈恵医大産婦人科学講座教授に就任し、婦人科癌の診療、研究、教育に尽力している。とくに婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）理事長として、日本発のエビデンス構築のため、さらに国内外における婦人科悪性腫瘍の臨床研究のリーダーとして活躍している。

肉腫

NEXT2

がんと肉腫はどう違うの？その診断から治療まで



日本人の発生率は約5万人に1人の「希少がん」である「肉腫」。この腫瘍は体の色々な部位に発生する上種類も多いのですが、情報が少ないという現状です。セミナーでは「肉腫」の基本と、最新の治療や今後の展望をお伝えします。

講師：川井 章（かわい あきら）先生／司会：梅田 里衣
国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍科 医長

1961年岡山生まれ。大学病院勤務、米国留学を経て2002年4月より国立がんセンター整形外科（現国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科）勤務。骨軟部腫瘍の診療と研究に従事している。患者さんの日々の生活（歩くこと、走ること、仕事すること）と生命を脅かす骨軟部腫瘍を治すこと、より良い治療法を開発すること、いつの日か撲滅することを目指して、患者さんとともに日夜病氣と闘っている。

緩和ケア

NEXT1

緩和ケアほんとうの意味と意義を考える



みなさまの緩和ケアに対する認識とはどのようなものでしょうか？もう治療のすべがなくなってしまった後の医療と思われるかもしれませんが、確かにそれは今も大きな役割のひとつですが、決してがんの終末期の患者さんを対象にしたものだけではありません。がんの治療をしながら、例えば痛みを緩和して日常生活や治療を上手に続けていくためにも役に立つことのできる医療でもあります。現状での緩和ケアの課題にもふれながら、認識を深めて頂くことで、緩和ケアをより近いものとして患者さんとご家族に利用して頂くことができるきっかけになればと思います。

講師：金石 圭祐（かねいし けいすけ）先生／司会：賢見 卓也
JCHO 東京新宿メディカルセンター 緩和ケア内科

1997年信州大学医学部卒業。国立国際医療センターにて初期研修を行う。2003年より3年間、埼玉県立がんセンター緩和ケア科レジデントとして研修を修了。2006年より東京厚生年金病院（現JCHO東京新宿メディカルセンター）緩和ケア内科に勤務、現在に至る。日本緩和医療学会認定専門医、医学博士。

胆道がん

NEXT3

知っていますか？意外と多い胆道がんのこと



胆道がんは日本に多い疾患で、胆のうがん、胆管がん、乳頭部がんに分類されますが、時に肝内胆管がんを含めることもあります。胆道がんの治療には、手術、化学療法などがあり、よりよい治療法を開発するための研究が活発に行われています。

講師：奥坂 拓志（おくさか たくじ）先生／司会：福島 安紀
国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

平成2年 岐阜大学医学部卒業。聖隷三方原病院内科、国立がんセンター中央病院肝胆膵内科を経て、平成22年から国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科 科長。肝胆膵悪性腫瘍の内科的治療を専門領域とし、現在、腫瘍診療ガイドライン改定委員会 副委員長、化学療法チーフ、胆道腫瘍診療ガイドライン作成委員会 化学療法担当委員、腫・消化管神経内分泌腫瘍ガイドライン作成委員会 内科治療担当委員、がん治療用ペプチドワクチンガイドライン作成委員会 作成委員を務める。

第5回フォローアップ総会
～BEC/CIN認定者活動報告～

Gallery 3

本総会では、BEC（乳がん体験者コーディネーター）・CIN（がん情報ナビゲーター）養成講座を受講し、認定を活かして活動されている全国のCIN、BECの方々から演題を募集し、活動報告をしていただきます。年に一度のこの総会が、認定者活動の拡充の刺激となり、1～9期までの縦のネットワークづくり、乳がん体験者を中心としたBECの方々、医療関係領域で仕事をされている方や、その他がん体験者等により構成されたCINの方々、相互に交流できる機会となっております。どなたにもオープンですので、皆様のご参加をお待ちしております。現在、第10期の受講生を募集中です。

18:00～	開会挨拶
18:05	NPO 法人がんネットワークジャパン
18:05～	認定者による活動報告
18:50	座長：NPO 法人がんネットワークジャパン 川上祥子 「BEC から始まった相模原市のピアサポート活動」 村上 利枝 (BEC1 期) 「京都乳がんピアサポートサロン～fellows～の活動」 吉田 羊子 (BEC7 期) 「沖縄から～'体験した人とつながるサロンづくり」 与儀 淑恵 (BEC8 期) 「伝える力をきたえる」 世継 祐子 (CIN5 期) 「活動紹介～想いを行動に！チャレンジ！～」 前原 克章 (CIN6 期) 「がん患者の仕事と治療の両立」 服部 文 (CIN8 期)
18:50～	閉会挨拶
18:55	NPO 法人がんネットワークジャパン

懇親会

Open College

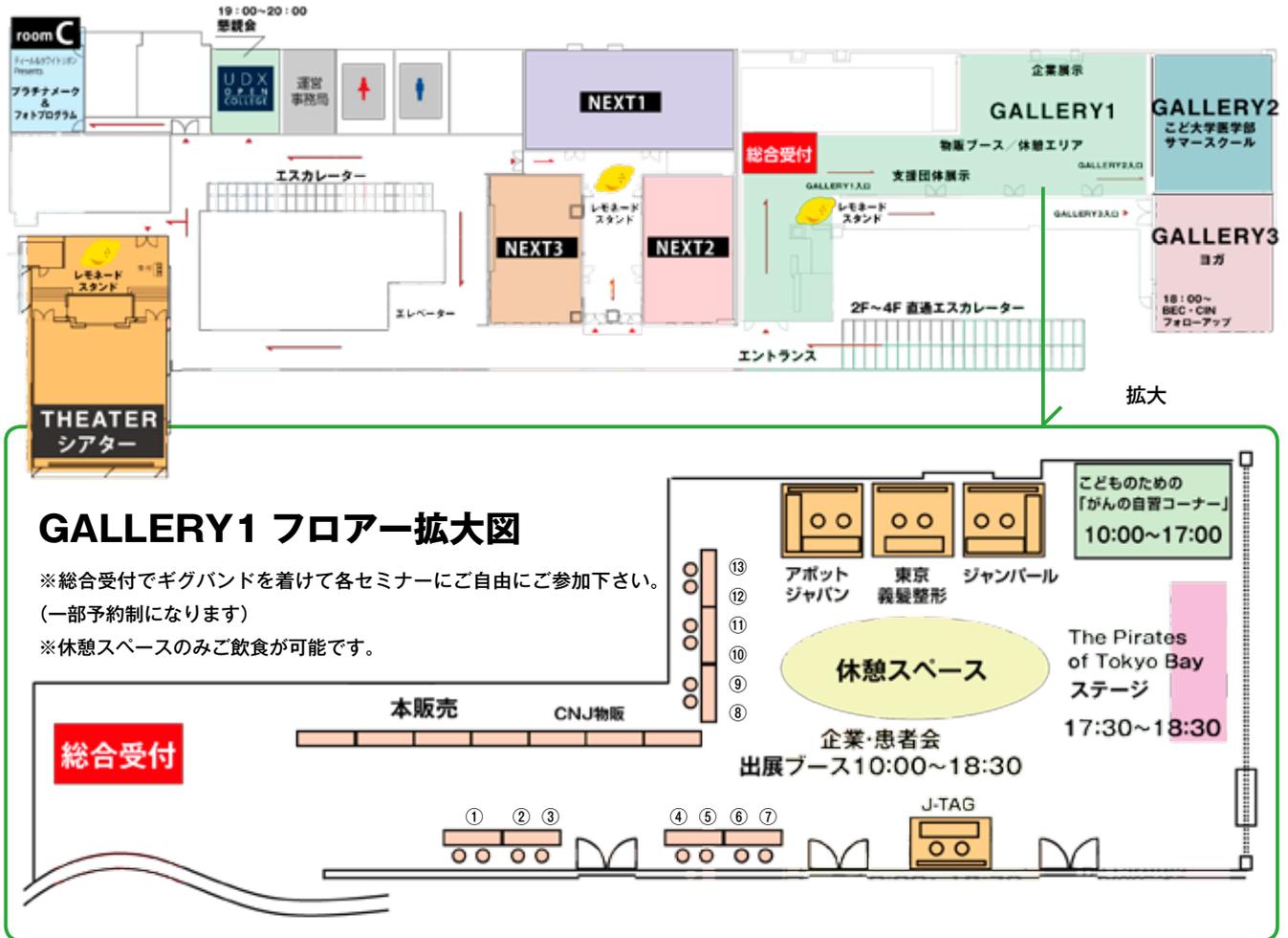
19:00 ~ 20:00

当日一回に3000円以上のご寄付をいただいた方に懇親会のチケットをお渡しいたします。直接、懇親会会場でご寄付をいただいても参加可能です。是非この機会に患者さん同士や、講師の先生方と親睦を深めてみませんか？簡単な軽食をご用意しています。



これからの受講を考えている方もどうぞお気軽にご参加下さい！

Floorguide/UDX4F



賛同協賛企業・患者会出展ブース

Gallery 1

10:00 ~ 18:30

アボット ジャパン株式会社

医薬品経腸栄養剤の分野でトップシェアを誇るアボットジャパン栄養剤製品事業部のブースでは、栄養機能食品プロシユアの試飲ができます。

株式会社ジャンパール

バイオイルは、どなたでも使える美容保湿オイル、化粧品です。ブースで2回分のサンプルを差し上げます。

株式会社東京義髪整形

医療用かつらデリス。必要な時に必要なだけ、1日単位で1日から自分にあった使い方ができます。ブースでは試着も可能です。

J-TAG 精巣腫瘍患者友の会

J-TAGブースでは、がんに関わるお金に関する無料相談をJ-TAGサポーターの京都出町FP相談の伊藤先生が対応して頂けます。

- ① 絵本「春ちゃんは元気です」
- ② NPO 法人こどものちから
- ③ がんの子どもを守る会(小児がんと闘う子ども・家族を支援する患者家族の会)
- ④ 一般社団法人がんセンターフィットネス
- ⑤ 主治医に言うほどではないけどなんかモヤモヤ〜な方、集まりませんか?の会(メンタル・スパ)
- ⑥ 乳がん体験者の会 KSHS (キッチンと手術・ホッペで再建の会)
- ⑦ NPO 法人エンパワリング プレストがんセンター (E-BeC)
- ⑧ 若年性がん患者団体 STAND UP!!
- ⑨ NPO 法人 GISTERS (GIST (消化管間質腫瘍)・肉腫患者と家族の会)
- ⑩ メラノーマ患者会「Over The Rainbow」
- ⑪ 公益社団法人日本オストミー協会
- ⑫ ブーケ (若い女性オストメイトの会)
- ⑬ NPO 法人オレンジティ (女性特有のがんのセルフヘルプグループ)

協賛:



株式会社ポーラ 昭和薬品化工株式会社 株式会社ジャンパール J-TAG 精巣腫瘍患者友の会
大正富山医薬品株式会社 パルシステム共済生活協同組合連合会 株式会社東京義髪整形 (順不同)

後援: 東京都/千代田区/一般社団法人日本癌治療学会 / NPO 法人日本臨床腫瘍学会 / NPO 法人日本肺癌学会 / 第 55 回日本肺癌学会学術集会 / 肺がん医療向上委員会 / 公益社団法人日本婦人科腫瘍学会 / NPO 法人婦人科悪性腫瘍研究機構 / 一般社団法人日本胃癌学会 / 日本頭頸部癌学会 / NPO 法人骨軟部肉腫治療研究会 / 一般社団法人日本血液学会 / 日本皮膚悪性腫瘍学会 / 大腸癌研究会 / NPO 法人日本小児血液・がん学会 / 公益財団法人前立腺研究財団 / 公益社団法人日本放射線腫瘍学会 / 一般社団法人日本がん看護学会 / 公益財団法人日本対がん協会 / NPO 法人日本医療政策機構 / 公益社団法人日本医師会 / 公益社団法人東京都医師会 / 独立行政法人科学技術振興機構 (JST) / NPO 法人秋葉原観光推進協会 (順不同)